



【NEWS】

眼鏡やコンタクトレンズをお買い上げいただいたお客様に2006年より送っていたお誕生日がきを2018年冬からニュースレターと一緒に封筒でお届けしています。ニュースレター vol.1~vol.7 を編集していた山本真里が出産のためお休みになります。vol.8 よりしばらくの間、細井ますみ が担当いたしますのでよろしくお祈りします。

普通郵便でお届けしているニュースレター。紙媒体での情報発信のスタイルはもう古いかもしれませんが、デジタル画面で見るとは違う良さもあるのではないかと考えています。そして確実・丁寧にお客様に届けて下さる郵便配達員の方にはいつも感謝しています。郵便物の取扱量減少に伴い郵便サービスの見直しが行われ、令和3年10月より普通郵便は土曜配達休止に、配達日数も1日程度増える事になるそうです。時代の変化に合わせながら、これからも確実・丁寧をモットーに頑張りたいと思います。



【PHOTOGRAPH】

目をリラックスさせる写真を掲載します。奥行きを意識しながら、奥から手前、右から左へ目を動かすと目の疲れが和らぎます。



【LOCAL】

今回は東上線大山駅南口から3分ほどのところにある「すあま商會」さんを訪れました。令和3年2月にオープンした世界のホットサンドイッチやケーキとドリンクを楽しめるカフェです。大山駅南口のマクドナルドの角を曲がって一つ目の十字路にある美容室の2階です。階段の入口に液晶看板があります。



「すあま商會」さんは普通のカフェと少し違います。常時里親会ができる保護猫シェルターが母体で、猫たちの生活費を稼ぐことを目指すカフェなのです。

「猫好きさんのためのお店ですか?」

いいえ、そんなことはありませんよ。里親さんも常時募集していますので、もちろん猫好きさん大歓迎ですが、猫たちとは距離がきちんと取られているので、動物や猫に興味のない方でも気持ちよく過ごせるカフェになっています。コンセント・wifi設備完備ですから、ホットサンドやドリンクを楽しみながら仕事をしたり、店内の本を読んだり、疲れたら猫たちを眺めてリフレッシュ出来る、そんな素敵な時間を過ごせます。



室内に猫を放し飼いにし、猫とふれあう時間を提供する業態のいわゆる「猫カフェ」とは異なります。

里親を待つ保護猫達はカフェの隣の居心地の良さそうな明るい部屋でマイペースに暮らしています。ガラス窓からその様子を眺めることができる様になっています。カフェの利用、グッズの購入、コワーキングスペースやイベントスペースとしての活用等により、知らない間に猫たちを支援する事が出来る素敵な仕組みです。



猫たちの部屋です =>

「すあま商會」ではカフェの収益は全部猫たちに使われていますので、店主の平松 温子さんはご自身の本業を続けながらお店を運営されています。加えて猫の突発的な事情等により営業日や営業時間が変更になることもあるそうです。

世界のホットサンドイッチは季節によりメニューが変わるので、それを目当てに出かけるのも楽しいです。「すあま商會」ですから、上品な甘さの和菓子「すあま」も用意されています。ケーキ屋さんの出張販売や、コロナ禍がある程度収まったらミニイベントの企画もあるそうです。

【SHOP DATA】

すあま商會
板橋区大山町7-8 2F-A
定休日: 毎週水・木曜日
(臨時休業あり)
営業時間: 11:00~19:00
Tel 03-6912-4532



”捨て猫の悲劇をなくしたい” そんな想いから生まれた本「ありがとう!わさびちゃん」ライターは店主の平松さんです